

議第1424号
横浜国際港都建設計画
近郊緑地特別保全地区の変更
円海山近郊緑地特別保全地区

近郊緑地特別保全地区

⇒首都圏近郊緑地保全法（昭和41年制定）
に基づき定める地域地区

首都圏近郊緑地保全法の目的

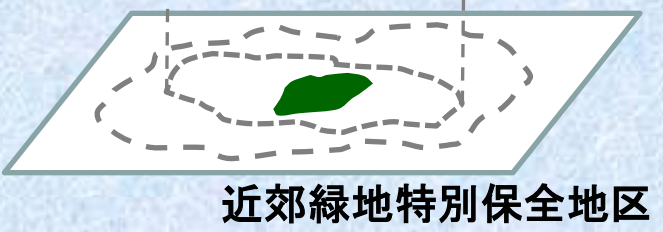
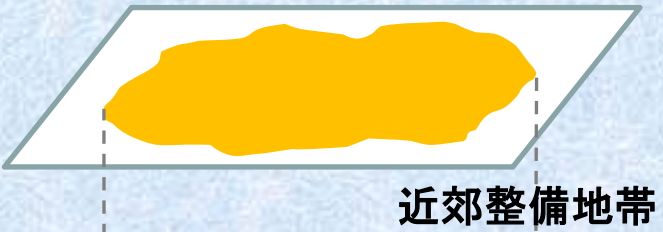
良好な自然環境を有する緑地の保全に関し必要事項を定めることにより、
「近郊整備地帯」の無秩序な市街地化を防止し、首都圏の秩序ある発展に寄与することを目的とする

【首都圏近郊緑地保全法第1条】

「近郊整備地帯」：横浜市内においては、横浜市の区域のうち既成市街地を除く区域

■近郊緑地特別保全地区の概要②

近郊整備地帯



近郊緑地保全区域

良好な自然環境を形成し、相当規模の広さを有する緑地のうち

- ①無秩序な市街地化のおそれ大きい
- ②首都及びその周辺地域の住民の健全な心身の保持・増進又は公害・災害の防止の効果が著しい

↳ **国土交通大臣**が定める

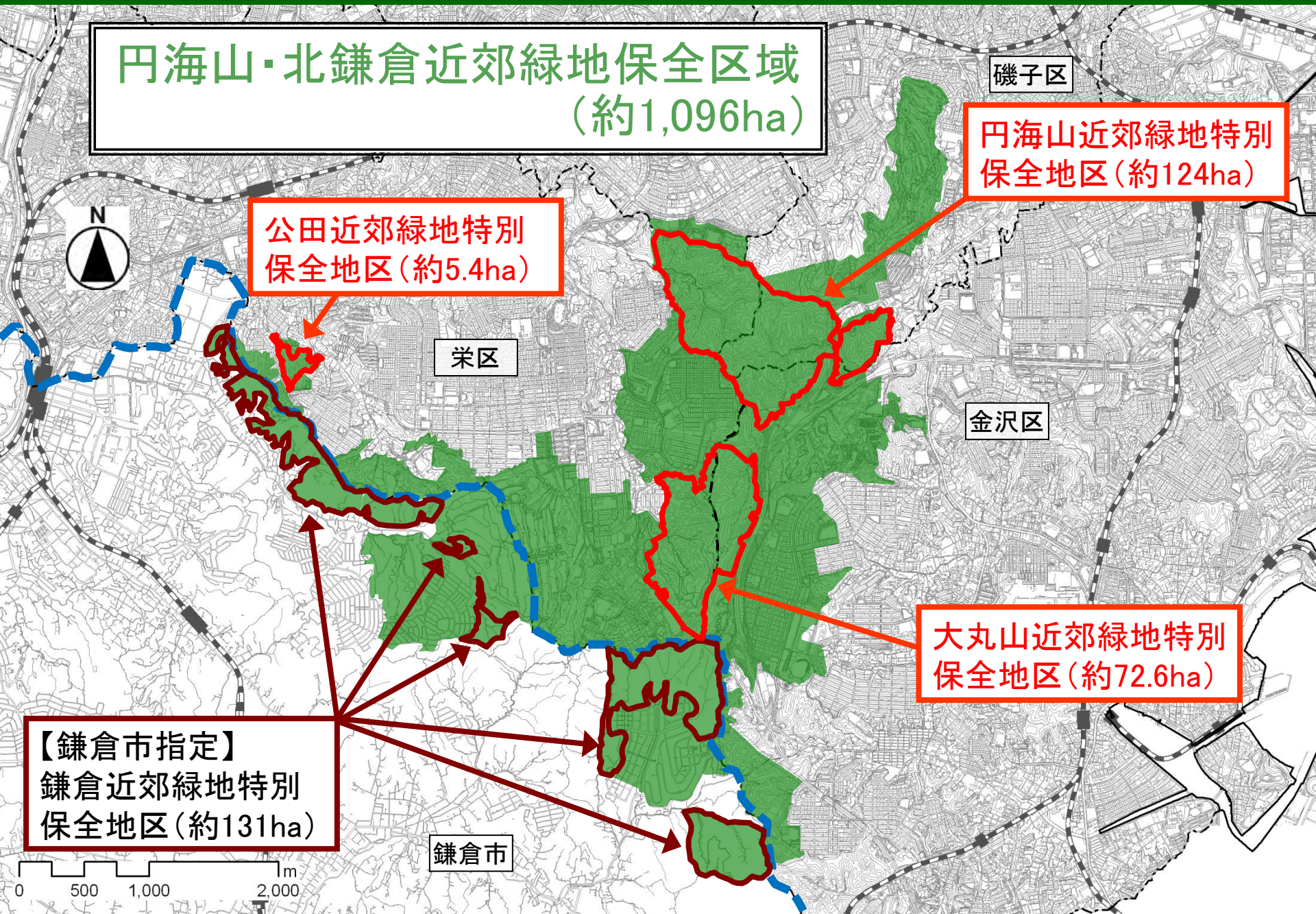
近郊緑地特別保全地区

- ・ 保全による②の効果が特に著しい
- ・ 特に良好な自然環境を有する

↳ **都市計画**に定める

■横浜市の近郊緑地保全区域①





■近郊緑地特別保全地区の指定基準

【円海山・北鎌倉近郊緑地保全計画】

1. 首都圏住民の健全な心身の保持及び増進等の効果が特に著しく、かつ特に良好な自然環境を有すること

留意点

- ① 自然とのふれあいや環境教育の拠点としての機能を有するもの
- ② 公害又は災害の防止に必要な位置、規模及び形態を有するもの
- ③ 地域の自然特性を顕著に示していること
- ④ 自然植生等の良好な自然環境を有するもの

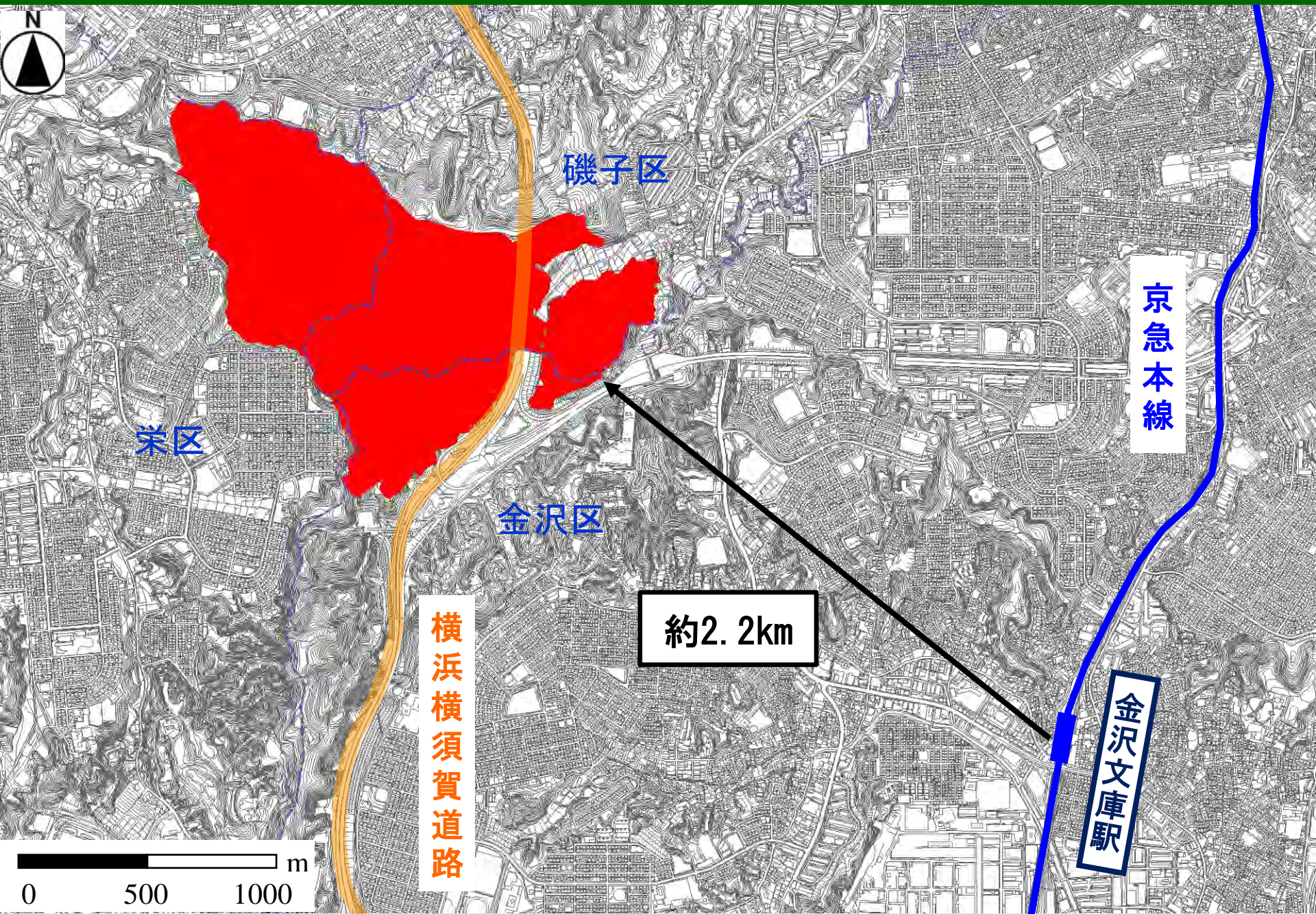
2. 近郊緑地の効果的な保全のため、特に保全対策を講ずる必要があること

留意点

- 樹木の伐採の規制等の保全対策を特に講ずる必要がある区域

近郊緑地特別保全地区の指定

位置図



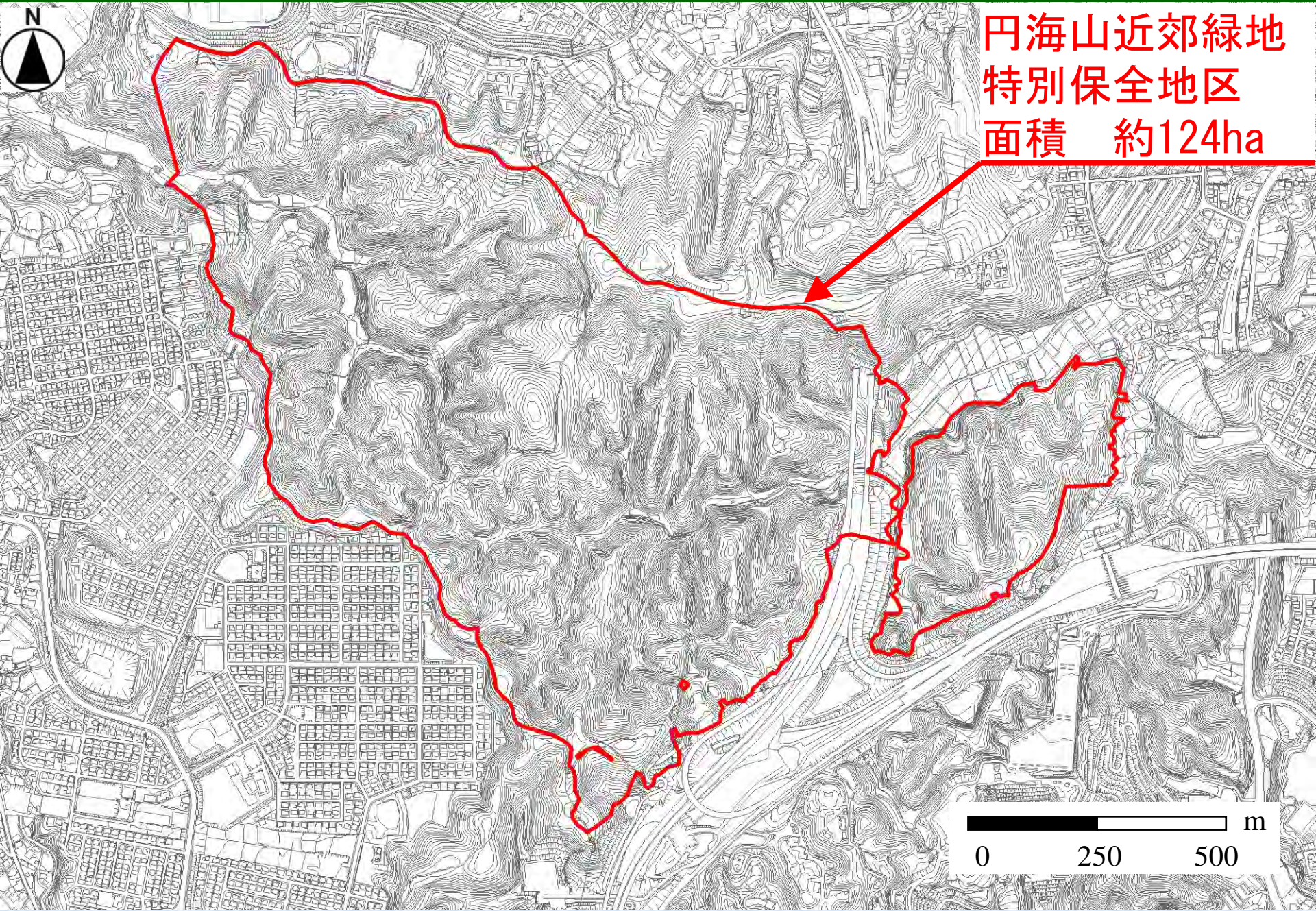
横浜横須賀道路

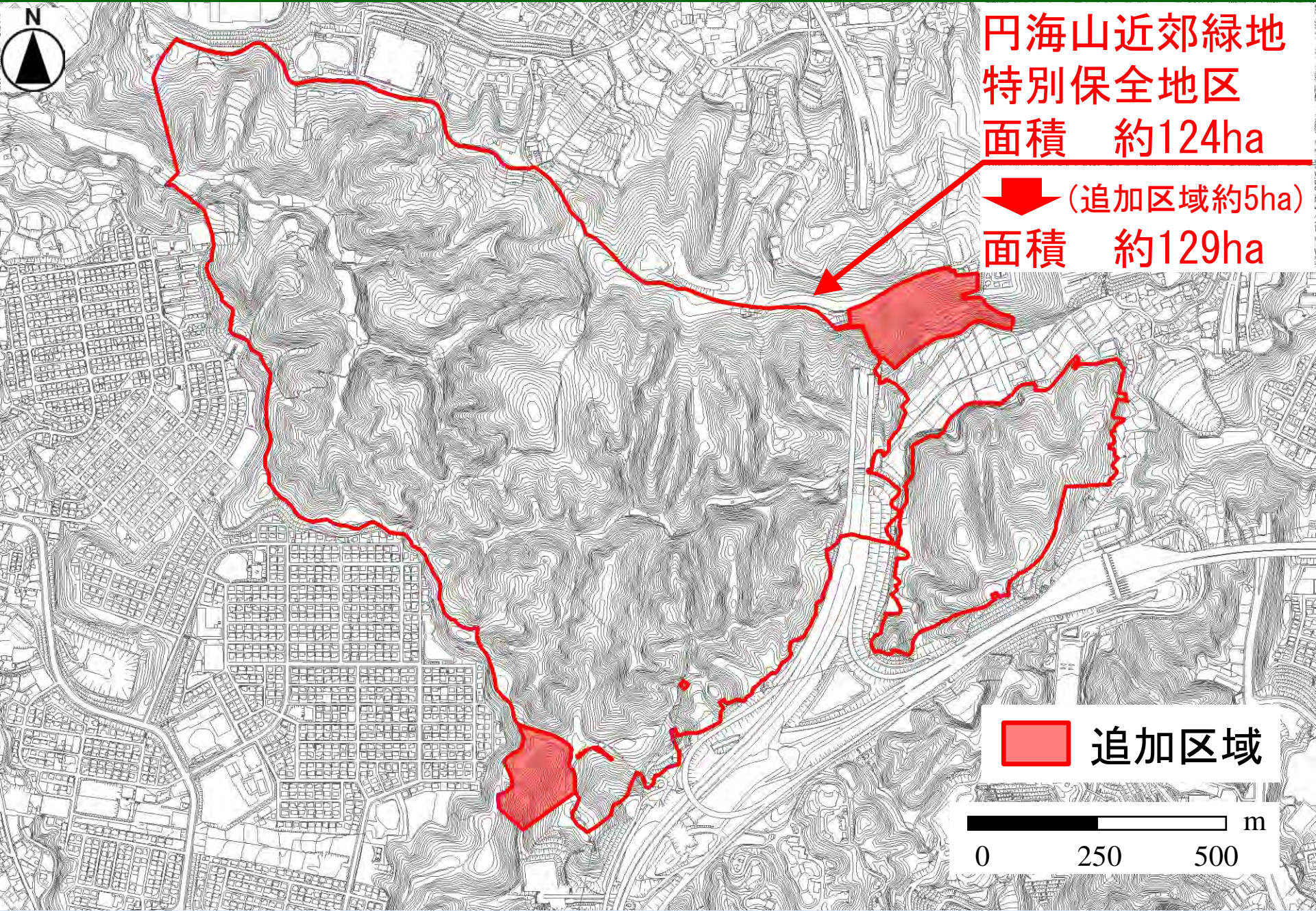
約2.2km

京急本線

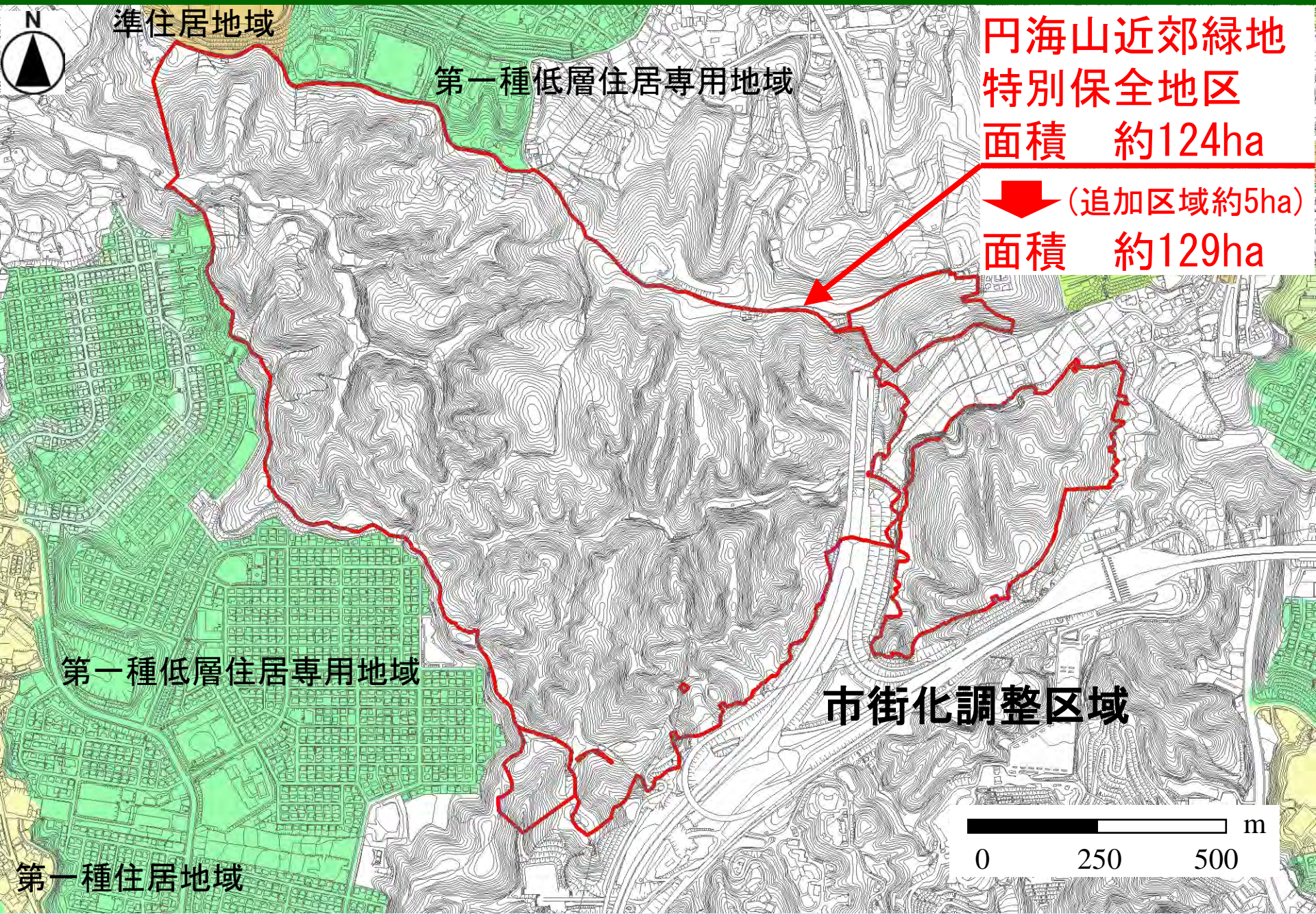
金沢文庫駅

0 500 1000 m





区域区分



円海山近郊緑地
特別保全地区
面積 約124ha
↓ (追加区域約5ha)
面積 約129ha

準住居地域

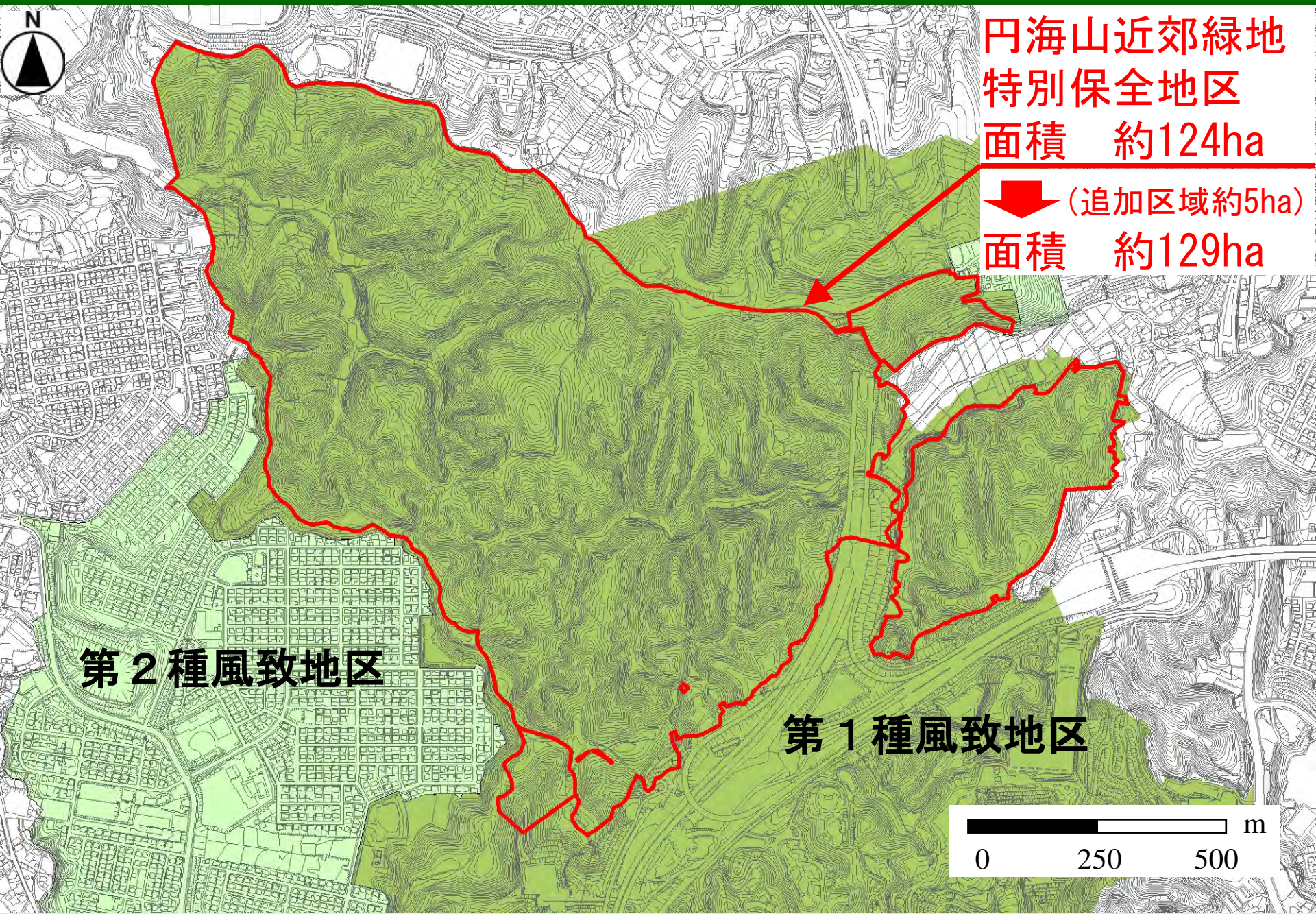
第一種低層住居専用地域

第一種低層住居専用地域

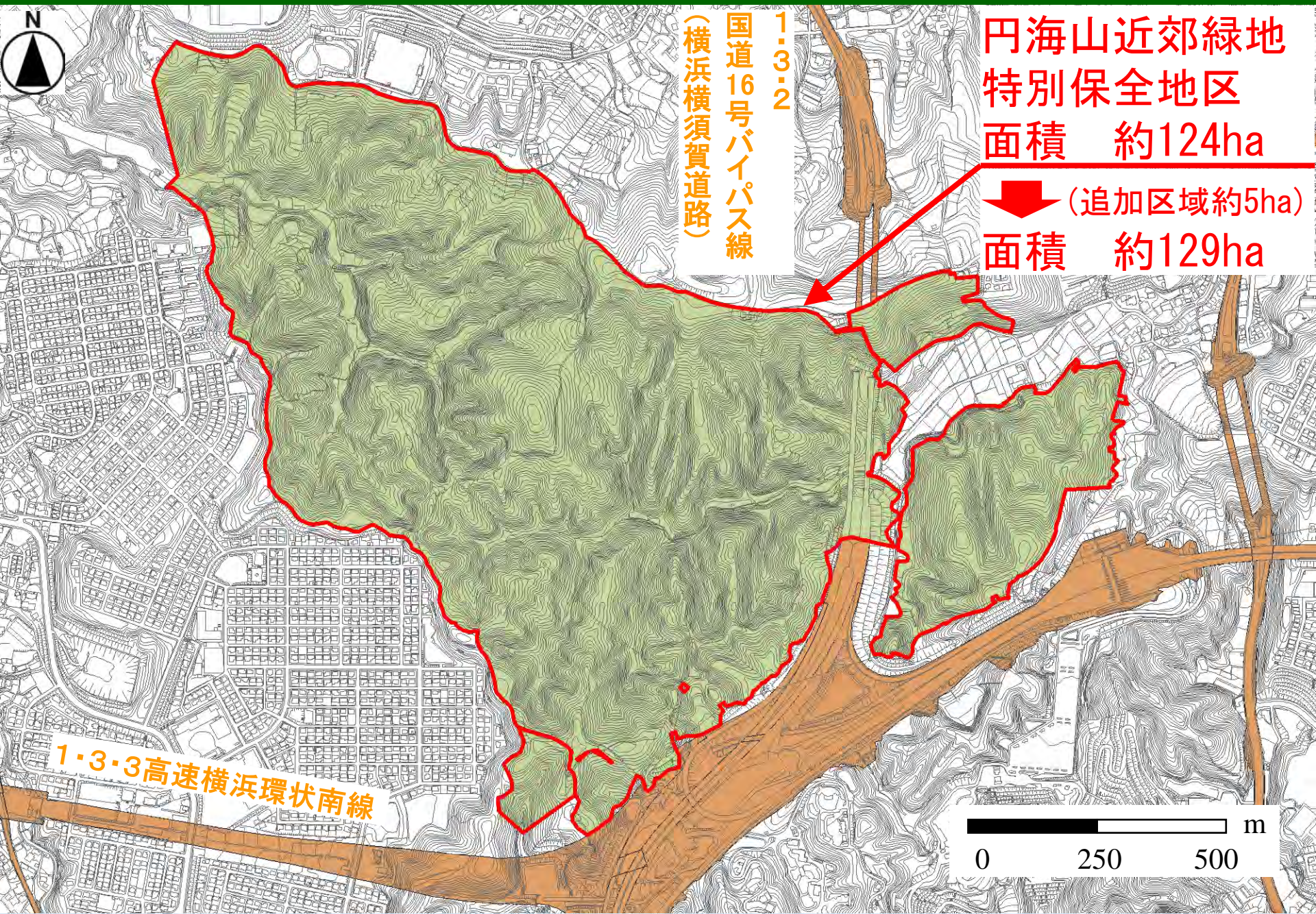
市街化調整区域

第一種住居地域





■ 周辺状況



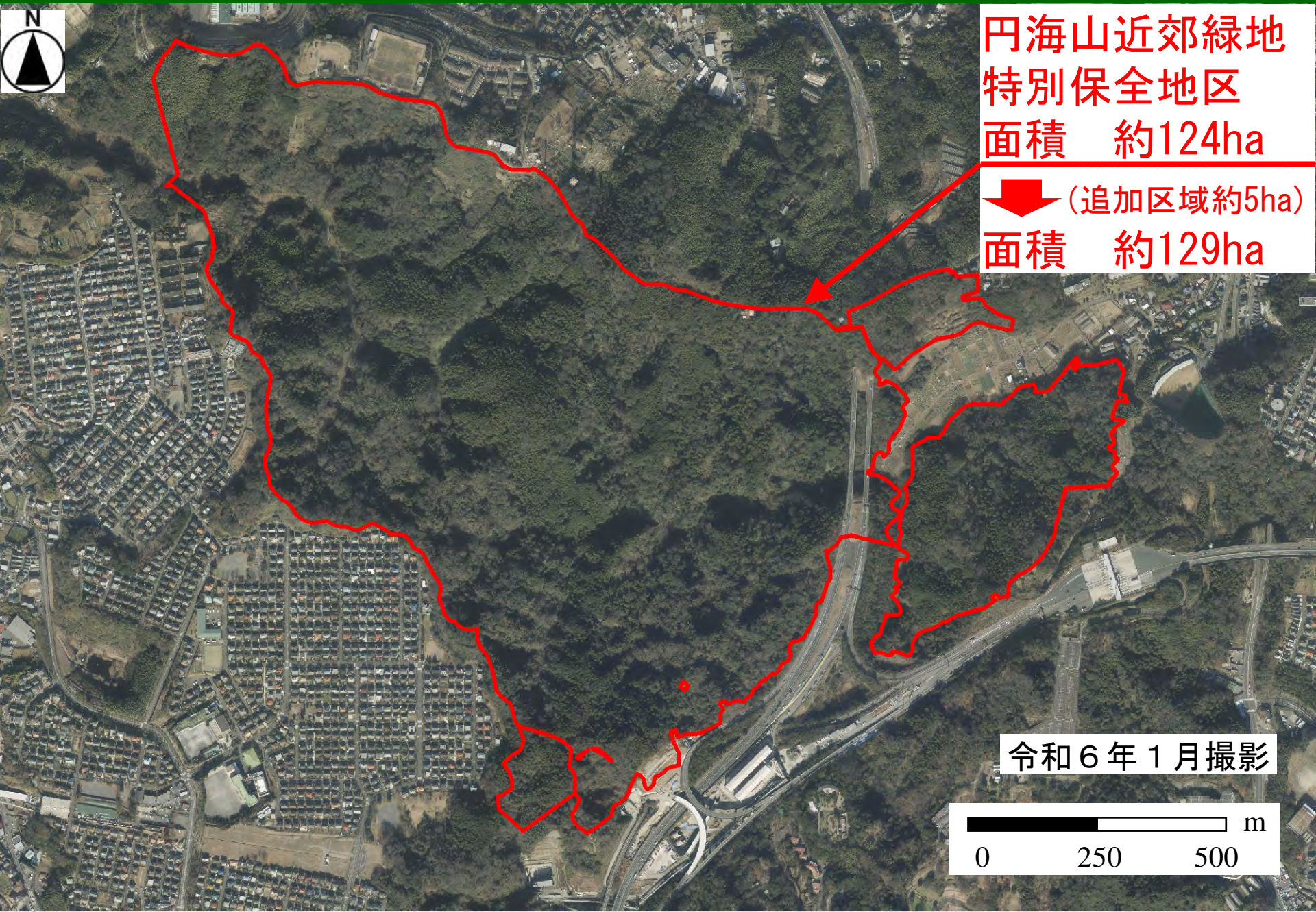
国道16号バイパス線
1・3・2
(横浜横須賀道路)

円海山近郊緑地
特別保全地区
面積 約124ha

↓ (追加区域約5ha)
面積 約129ha

1・3・3高速横浜環状南線



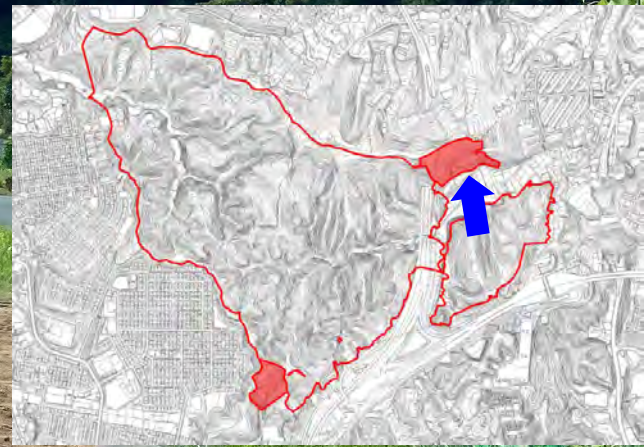


円海山近郊緑地
特別保全地区
面積 約124ha

↓ (追加区域約5ha)
面積 約129ha

令和6年1月撮影

0 250 500 m





円海山近郊緑地
特別保全地区

緑の10大拠点

円海山周辺地区

首都圏レベルの貴重な
緑地空間として近郊緑地
特別保全地区の指定拡大
を推進する。



特に良好な自然環境を保全

首都及び周辺地域の住民の
健全な生活環境を確保



近郊緑地特別保全地区を変更

縦覧期間	自 令和6年10月25日 至 令和6年11月8日
------	-----------------------------

意見書の提出	なし
--------	----